

11月の衛研検査情報

～概要版～

食品中の動物用医薬品検査結果（令和元年9月）

健康福祉局食品専門監視班が令和元年9月に収去及びインターネットで購入した食品の検査結果を報告します。

主な結果 鶏の筋肉8検体及び鳩の筋肉2検体の計10検体について検査を行いました。その結果、9検体は全ての検査項目で不検出でしたが、鳩の筋肉1検体から「オキシテトラサイクリン、クロルテトラサイクリン及びテトラサイクリンの和」を0.39 ppm検出しました（基準値：0.2 ppm）。この製品は輸入食品（原産国：フランス）で、輸入業者による製品の自主回収が行われました。

農産物の残留農薬検査結果（令和元年8月～10月）

食品中に残留する農薬等が、人の健康に害を及ぼすことのないよう、厚生労働省は農薬等について残留基準を設定しています。当所では、横浜市内に流通する農産物等に残留する農薬の検査を行っています。令和元年8月～10月上旬に健康福祉局食品専門監視班及び各区福祉保健センターが収去した市内産農産物33検体の検査結果を報告します。

主な結果 こまつな、日本なし及びびどう各2検体、きゅうり1検体から延べ13項目の農薬が検出されましたが、残留農薬の規格基準値を超えるものではありませんでした。

器具及び容器包装の規格試験の検査結果（令和元年度）

食器や調理器具、包装材などは、食品と直接接触して使用されることから、一部が剥離又は化学物質が溶出して食品が汚染される可能性があります。そのため食品に接する器具及び容器包装の安全性については食品衛生法により規格が設定されており、適合している必要があります。令和元年5月及び9月に健康福祉局食品専門監視班が市内で収去した食器等30検体について、器具及び容器包装の規格試験を行いました。

主な結果 すべての検体が規格に適合していました。

衛生研究所WEBページ情報

横浜市衛生研究所WEBページでは、感染症情報、保健情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報、薬事情報などを提供しています。検査情報月報では、アクセス件数をもとに、どのような情報に関心が寄せられているかを解説しています。



主な結果 令和元年10月は、横浜市感染症情報センタートップページ、大麻（マリファナ）、インフルエンザワクチンについて、EBウイルスと伝染性単核症、B群レンサ球菌（GBS）感染症、トキソプラズマ症、水痘（水疱瘡）・帯状疱疹、に関するページのアクセスが多くみられました。総件数は347,507件でした。



詳しくは横浜市衛生研究所ホームページを御覧ください



<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/eiken/geppo/inspection-inf.html>

横浜市衛生研究所では、所内で行われた試験検査などの結果に解説を加えて、毎月、「検査情報月報」として報告しています。